



二つの書道展での活躍

第46回神奈川県高等学校教育書道コンクールで、3年の望月拓海君が入賞しました。「神奈川県書写能力検定委員会賞」(臨書の部)総出品数9,148点中の第6位でした。

また、第52回高等学校書道展で、2年の山口遥さんと大朋恵里花さんが「特選」を受賞しました。山口さんの作品は縦約280cm×横約130cmの大作で、選考会を見事通過して展示され、特選を受賞しました。

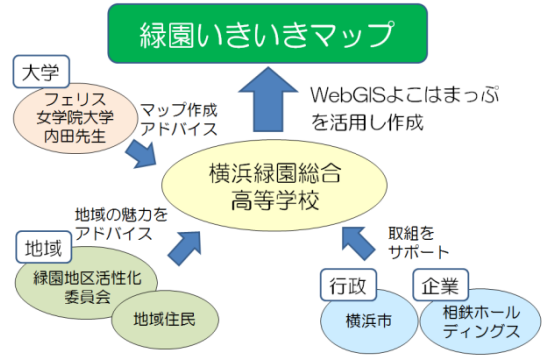
日々の研鑽が見事花開きました。おめでとうございます。



緑園いきいきマップ～地域との協働

緑園連合自治会、横浜市役所、泉区役所、相鉄ホールディング、フェリス女学院大学と本校が連携して部会を作り、横浜市のオープンデータを活用した電子マップづくりを進めています。

緑園いきいきマップまでの経緯



本校からは1年次の五十嵐君、松井君を中心として4名の生徒が、他の部会の方々の支援を受けながらマップづくりに取り組んでいます。

特に、緑園自治会の清水さんには車で緑園地区を案内していただいたり、フェリス女学院大学の内田先生は、多くの時間を割いて、大学内での作業の手配と指導をしてくださっています。

その成果発表が1月31日(土)横浜大さん橋国際客船ターミナルにおいて開催された「YOKOHAMA YOUTH Ups! フューチャーセッション」で行われました。参加校は、高校2校、専門学校2校、大学6校です。「横浜から“みんなが包摂され活躍できる社会”を創る」をテーマにそれぞれがプレゼンを行いました。

市民がつながるためのスマホアプリの開発、空き家活用の提案、地域商店街との行事連携等々、知恵を絞った内容でした。

本校は松井君と五十嵐君がパワーポイントを使って発表をしました。いきいきマップを内容、今後の展望等を10分でまとめました。堂々と顔を上げてしっかりとした口調でのプレゼンでした。部会の皆さんから、プレゼン後にお褒めの言葉をいただきました。



校長 遠藤 誠

ためらわずAED～赤十字救急法短期講習会

10月27日から11月11日の間、1年次生全員を対象に、本校の武道場で講習会を実施しました。保健の授業に、講師として日本赤十字社の指導員の方々にお越しいただきました。手当の基本・心肺蘇生とAED、一時救命処置の実技と、緊張感にあふれた内容でした。

この講習は不慮の事故災害に直面した時、どのような行動が必要か考える機会となりました。

授業後、生徒の中から「AED取りに行くのに何分かったっけ?」「学校出たら次はどこにAEDってあるの?」「家の近くにAEDはあったっけ?」など、疑問の声があったと聞いています。

もしも、緊急事態に出遭った時、思い切って行動ができるよう準備ができたのではないのでしょうか。

